2026 年 11 月 12 日

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ株式会社
広報室（森トラスト㈱ 広報・マーケティング部内） 西田
TEL：03-6435-8433
MAIL：koho@mori-trust.co.jp

報道関係者各位

国産SAFの原料となる 年間約30トンの廃食用油を提供へ

対象をホテル・レストラン24施設へ拡大

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ株式会社は、運営するホテルおよびレストランにおいて発生する廃食用油を国産の持続可能な航空燃料（SAF：Sustainable Aviation Fuel）の原料として提供する取り組みを 24 施設に拡大しました。

本取り組みは、日揮ホールディングス株式会社（本社：横浜市、代表取締役会長兼社長 CEO 佐藤雅之）、株式会社レボインターナショナル（本社：京都市、代表取締役 CEO 越川哲也）、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（本社：横浜市、代表者 髙田岳志）と当社との基本合意に基づき、2026 年 7 月より 4 施設で廃食用油の提供を開始し、対象施設を順次拡大してまいりました。このたび 11 月 11 日時点で対象施設をホテル・レストラン計 24 施設へと拡大し、年間計約 30 トンの廃食用油を提供する予定です。

ホテルやレストランから生まれる資源を“空を飛ぶエネルギー”へ

SAF は、従来の化石由来ジェット燃料と比較して、原料の収集から製造、燃焼までのライフサイクル全体で、CO2 排出量を最大約 80%削減できるとされています。

年間約 30 トンの廃食用油からは最大約 27,000 リットルの SAF を製造することが可能で、年間約 75 トンの CO2 排出削減効果が見込まれます。

当社はこれまでも環境負荷低減に向けた取り組みを推進してまいりました。今回の取り組みを通じ、国内外から多くのお客様が航空機を利用して来訪されるホテル・レストラン事業者として、資源循環の促進に貢献し、脱炭素社会の実現に向け、さらに推進してまいります。

取り組みの概要

実施内容：　ホテル・レストランの使用済み食用油を回収し、SAF 製造の原料として提供

提供予定量：　年間約 30 トン

提供開始：　2026 年 7 月より順次

対象施設:　ホテル 22 施設、レストラン 2 施設　計 24 施設(2026 年 11 月 11 日時点)

ホテル

翠嵐 ラグジュアリーコレクションホテル 京都

紫翠 ラグジュアリーコレクションホテル 奈良

イラフ SUI ラグジュアリーコレクションホテル 沖縄宮古

ホテルインディゴ長崎グラバーストリート

東京マリオットホテル

富士マリオットホテル山中湖

軽井沢マリオットホテル

伊豆マリオットホテル修善寺

琵琶湖マリオットホテル

南紀白浜マリオットホテル

シェラトン沖縄サンマリーナリゾート(当社グループホテル)

ウェスティンホテル仙台

コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーション

コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション

コートヤード・バイ・マリオット 白馬

強羅環翠楼

料理旅館 花楽

ホテルラフォーレ那須

ラフォーレ 箱根強羅 湯の棲

ラフォーレ 伊東温泉 湯の庭

ホテルラフォーレ修善寺

WAKAN 箱根強羅 by ラフォーレ

レストラン

スカルペッタ東京

Dining & Bar LAVAROCK 神谷町

SAF とは

SAF は、廃食用油などを原料とする航空燃料として、従来の航空燃料と比較し CO2 排出量を大幅に削減することが可能なエネルギーです。航空機は自動車などと違い電気や水素などの燃料では代替しにくいことから SAF の利用による CO2 排出削減が世界で求められています。

日本では、国土交通省が 2030 年時点で国内航空会社による燃料使用量の 10%を SAF に置き換える目標を掲げており、さらに 2050 年には、カーボンニュートラルにすることを目指しています。その実現に向け、国産 SAF の原料である廃食用油の安定的な調達が喫緊の課題となっています。

一方で SAF の原料である廃食用油は、年間およそ 10 万トンが海外に輸出されているといわれており、輸送による CO2 が排出されるだけでなく、国産 SAF 製造のための貴重な原料流出につながっています。本取り組みは、この課題解決の一助となるものです。

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツが取り組むサステナビリティ活動について

当社では、持続可能な社会の実現に向け、以下の取り組みを推進しています。

アメニティのプラスチック削減

2023 年 1 月より、一部宿泊施設において、客室内アメニティの提供方法を見直し、必要分のみをフロントでお渡しする方式や無料アメニティバーの導入、環境配慮型製品への切り替えなどを実施し、2026 年 3 月末までに累計で 49.9 トンのプラスチックを削減しました。

ペットボトルの廃止

運営するホテルのうち 16 施設・約 2,000 室において、客室でのペットボトル等の使い捨て容器による飲料水の提供を廃止し、各客室にウォーターサーバーを導入します。2026 年度から順次導入を開始し、2027 年度までに年間 28.8 トン相当（ペットボトル 500ml 約 115 万本分）のプラスチック削減を目指します。

再生可能エネルギーの導入

2023 年より、「東京マリオットホテル」、「ウェスティンホテル仙台」、「コートヤード・バイ・マリオット東京ステーション」の 3 ホテルにおいて再生可能エネルギーの導入を開始しています。

環境保全活動

「南紀白浜マリオットホテル」では熊野古道の修復・清掃活動、「イラフ SUI ラグジュアリーコレクションホテル 沖縄宮古」では、マングローブ林を巡るクルーズやサンゴ苗付け体験などを通じた自然環境学習型宿泊プランの提供など、地域と連携した環境保全活動を行っています。

歴史的建造物の保存・復原・活用

森トラストグループでは、歴史的建造物を生かしたホテル運営にも注力しています。

1922 年建設の旧奈良県知事公舎を保存・復原・活用した「紫翠 ラグジュアリーコレクションホテル奈良」や、重要伝統的建造物群保存地区内に位置する建造物を保存・復原・活用した「ホテルインディゴ長崎グラバーストリート」など、地域に根差した文化を継承し、後世へと伝えながら、お客様に他にない旅の体験と現代的な快適性を提供する取り組みを進めてきました。

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ株式会社について https://www.mt-hr.com/

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：伊達 美和子）は、森トラストグループのホテル事業を担う中核企業です。日本各地において、世界的な外資系ラグジュアリーホテルから自社ブランドの「ラフォーレホテルズ＆リゾーツ」まで、21 の宿泊施設および 13 のレストラン・カフェを運営しています（2026 年 10 月末時点）。

マリオット・インターナショナル、ヒルトン・ワールドワイド・ホールディングス、インターコンチネンタル・ホテルズ・グループなど、グローバルブランドとのパートナーシップを通じて培った世界基準のサービスと、日本ならではのホスピタリティを融合させ、今後も観光産業の質的向上と新たな体験価値の創造に取り組んでまいります。